

そらぐみだより

2024.7月号
 広島女学院ゲーンズ幼稚園
 そらぐみ担任 古本 紗也

だんだんと友だちとの関係が深まり、気の合う友だちと好きな遊びを楽しんだり、思いを伝えあいながら同じ目的を持って遊びを広げていく姿が見られるようになりました。思いを伝えあう中で、上手く伝わらず気持ちがぶつかり合うこともあります。そんな時には保育者を通して気持ちを伝えあいながら解決に向けて話し合いの時を持ち、折り合いをつけて友だちと関わっています。神様のお守りの中で心と体を十分に動かして過ごすことができました。1学期もありがとうございました。



6月10日(月)から花の日週間に入り、小さな野の花にも命を与えてくださる神様に感謝をささげる時を持ちました。
 お家から摘んできたお花や、お散歩で摘んだお花を愛でたりしていろいろな草花との出会いを楽しみました。

大学構内にもお散歩に行き、咲いているお花や摘んだお花を匂って「いい匂いがする！」と見て感じたことを友だちと共有して小さなお花にも心を寄せていました。大学構内の芝生でゴローンと寝転がり、気持ち良いひと時も過ごしましたよ。



そして、大学構内のお散歩から幼稚園に戻る帰り道、大学や幼稚園を守ってくださっている守衛さんの前を通ります。お花を守衛さんに届けようと計画し、感謝の気持ちを込めて摘んだお花をプレゼントしました。「いつもみんなのことを守ってくれてありがとう!」「これからもよろしくね!」
 たくさんのありがとうが溢れる温かい時間となりました。

毎日、絵本の世界を楽しんでいる子どもたち。ある日、お家でお話を考えて作ってきたというお友だちがいました。子どもたちは友だちの作品に釘付け。「これは何を書いたの?」「ここからはどうなるの?」と興味深く質問したり、「ここにこんなのも描いてる!」と隅から隅まで絵を見て発見するのを楽しみました。



休日に、「不思議の国のアリス」のオペレッタを鑑賞した子どもたちが開催してくれた、アリスのオペレッタ。セリフを考え、歌う曲を決め、衣装も自分たちで創りました。年長組3クラスの友だちで役割分担をしながら準備を進めていき、ステージで歌ったり踊ったり、演じたりして表現することを楽しんでいます。保育室の大型積み木でステージを作ったところから始まり、お客さんが入りきらずホールステージでも開演しました。



カメラマンさんやインカムをつけたスタッフさんたちも公演を支えてくれました。「固定のカメラも必要だね」と、保育室にある和久積み木でカメラを作り、設置も行いました。クラスを超えて学年の友だちみんなで作り出したオペレッタ。気持ちをひとつに、何度も開演してお客さんがたくさん来てくれたことに喜びを感じながら楽しみました。

うた	讃美歌	絵本	手遊び
ドロップスのうた	主われをあいす	おじさんのかさ	キャンプだホイ
ぼくのミックスジュース	神さまがわかるでしょ	なつのいちにち	蚊取り線香
ハッピーチルドレン	うみでおよぐ	はははのはなし	幸せなら手をたたこう
にじのむこうに	そのかずいくつ	たなばた	かき氷
	アーメンハレルヤ	あめふり	